



文部科学省

地(知)の拠点

平成26年度採択大学COC事業

文化産業都市倉敷の未来を拓く若衆育成と大学連携モデル創出事業

平成30年度 第14回 倉敷みらい講座

倉敷アートスタート研究 関連シンポジウム

保育者・教員養成における
創造的集団活動の意義と展望

～卒業生による保育・教育現場からの報告を通して～

くらしき作陽大学子ども教育学部附属児童文化部ぱれっとは、学部の教育機関として、保育者・教員養成と地域子育て支援活動を一体的に行うことを目的に活動してきました。児童文化財の制作と上演を切り口としたアクティブラーニングとサービ斯拉ーニングに学年を越えて取り組み、地域の親子クラブから国際演劇祭まで公演を重ね、保育者・教員・社会人を輩出してきました。今回のシンポジウムでは、保育・教育の現場で先生として勤務する卒業生による報告から、学生劇団という学びの共同体の意義について考えます。同日午前には開催される10周年記念公演も併せて、どうぞお越しください。



報告 & シンポジウム

1. 報告

「くらしき作陽大学子ども教育学部附属児童文化部ぱれっとの歩み」

○報告：浅野 泰昌(くらしき作陽大学子ども教育学部講師)

2. シンポジウム

「創造的集団活動による学びと保育・教育実践への展開」

○パネリスト：

轟谷 二葉氏 (ぱれっと1期生・特別支援学校教諭〔滋賀県〕)

中野 広大氏 (ぱれっと3期生・小学校教諭〔長野県〕)

芝勢 恭子氏 (ぱれっと5期生・幼稚園教諭〔兵庫県〕)

遊佐 香保里氏 (ぱれっと6期生・保育士〔岡山県〕)

○指導・助言：

渡邊 祐三氏 (社会福祉法人橘会御南第二保育園 園長)

林 直人氏 (くらしき作陽大学子ども教育学部 学部長)

○司会：

浅野 泰昌 (くらしき作陽大学子ども教育学部講師)

●日時：

2018/11/4(日)

13:30～15:00

(13:10開場) (※特別講義)

●場所：

くらしき作陽大学

1号館1階122教室

(倉敷市玉島長尾3515)

●対象：

地域の皆様(保育、教育、子ども向けの舞台芸術や子育て支援に興味のある方)、大学生、短期大学生、教職員

参加無料
申込不要

くらしき作陽大学



倉敷芸術科学大学

KURASHIKI UNIVERSITY OF SCIENCE AND THE ARTS

地(知)の拠点整備事業は倉敷市と2大学が連携して行っています。

【お問い合わせ】くらしき作陽大学COC事務局 TEL/FAX:086-436-0172 E-mail:coc@ksu.ac.jp